

平成16年1月1日

(第57号)

# 鵜戸



鵜戸神宮ホームページ <http://www.m-surf.ne.jp/~udo/>

発行者兼編集者  
鵜戸神宮社務所



### 謹んで新年の御祝詞を申し上げます



宮司 杉田 秀清

平成十六年の年頭にあたり、聖寿の万歳とご皇室の弥栄をご祈念申し上げます。又、氏子崇敬者のご平安とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

鵜戸神宮におきましては新年を迎えるにあたり、神門前の独特な門松飾を始め、鳥居、海辺にある亀岩などの各所の注連縄が清らかに張り整えられ、大晦日には、大祓式、除夜祭を斎行致しました。

ご神殿の内外の装いも清々しく新玉の年を迎えた元日には、若水をお供えし、午前零時より歳旦祭を斎行し、新年を祝い、ご皇室の弥栄、氏子崇敬者のご平安をご祈念申し上げます。ご存知の通り、まさに「天下の奇観」といわれる奇

岩が連なり、荒磯には波濤が打ち寄せ、急傾斜の石段を下ると盃窟の中に朱塗のご神殿があり神鎮まります。境内には海と森とが渾然一体となり、極めて神秘的な聖域をなしています。

さて、古くより神社は地域の人々の心の拠り所として、同じ生活環境のもとに、生活、習慣、自治、芸能などを育み、その中心的な役割を担ってまいりました。しかし、社会の変化にともない急激に地域で行う慣習、共同作業など少なくなり、失った芸能・習慣など多くあります。最近、地域振興の為、観光、資源などをほりおこし、特色あるものを発展させようという気運が出てきました。「ひむか神話街道」もその一つで、当宮

も勿論その一翼を担い皇祖発祥の地、宮崎を見直すきっかけになるものと思えます。

又、世の進歩に伴い社会生活などが、地球規模に拡大し、外来語も多く使用されるようになりました。よく、「グローバル」とか「コミュニティ」「アイデンティティ」とか安易に使用されて来た外来語を国立国語研究所は、昨年、百九語の言い換え提案を発表しました。外来語が氾濫してわかないからです。グローバルを「地球規模」、コミュニティを「地域社会」、共同体「アイデンティティ」を「独自性、自己認識」と言い換えようと発表しました。このことは私共にとつて時宜にかかつており大歓迎です。

鵜戸神宮でも、できるだけ「地域社会」に根ざしていく為、当宮の信仰、歴史、自然、伝統、文化などを広く世に発信すべく努力しています。昨年フランス人の画家マークエステル氏が鵜

鵜草葺不合尊にまつわる絵画を奉納されましたが、彼が古事記の仏訳を読み、そのすばらしさに感銘を受けたのです。まさに「地球規模」に日本神話が理解されてきたと思えました。

なくなりつつあり、その日本文化を外国人が学ぼうとしていることも現実です。日本人は、日本人としての文化に誇りを持ち、各人がその「独自性」「自己認識」を見つけてほしいものです。新しき年が皆様にとつてよき年でありませうお祈り申し上げます。



神門前の門松飾

### 抜穂祭 斎行

七月二十日、午前十時三十分より御神田にて抜穂祭が斎行され、地元の老若男女約六十名の参列を賜った。今年、天候不順で稲の生育が心配されたが、関係各位の御尽力により、刈り入れ当日には黄金色の稲穂が頭を垂れるまでに実っていた。

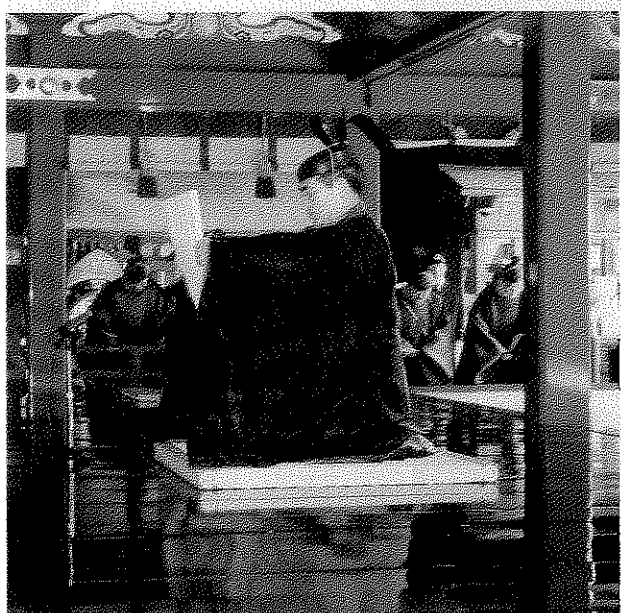
祭典では、祝詞奏上の後、抜穂の儀が行われ、斎主が抜き取った稲穂、刈女によつて刈り取られた稲穂がそれぞれ御神前に奉納された。



### 新嘗祭 斎行

今年収穫された穀物を神々に捧げ、その御恵みに感謝する新嘗祭が、十一月二十三日宮中をはじめ全国の神社で斎行された。

宮中では、天皇陛下が新穀を天照大御神をはじめ天神地祇にお供えになり、御自ら申し召される重要な祭儀である。



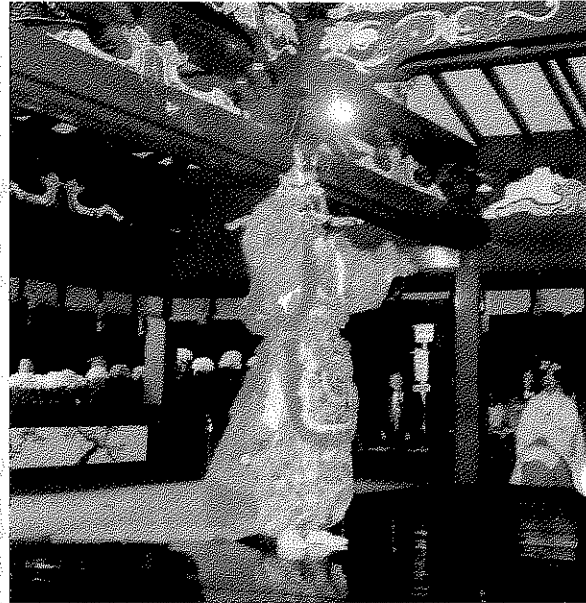
宮司祝詞奏上

今年収穫された穀物を神々に捧げ、その御恵みに感謝する新嘗祭が、十一月二十三日宮中をはじめ全国の神社で斎行された。宮中では、天皇陛下が新穀を天照大御神をはじめ天神地祇にお供えになり、御自ら申し召される重要な祭儀である。当神宮においても責任役員、総代をはじめ崇敬者など多数の参列を賜り、午前十時三十分より宮司以下祭員によつて厳修され、収穫に感謝する「ごも神楽」が、鵜戸小学校三・四年生七名により奉納された。又、各地区より新米、焼酎、果実、菓子などの地場産品が横山のごとく供えられた。

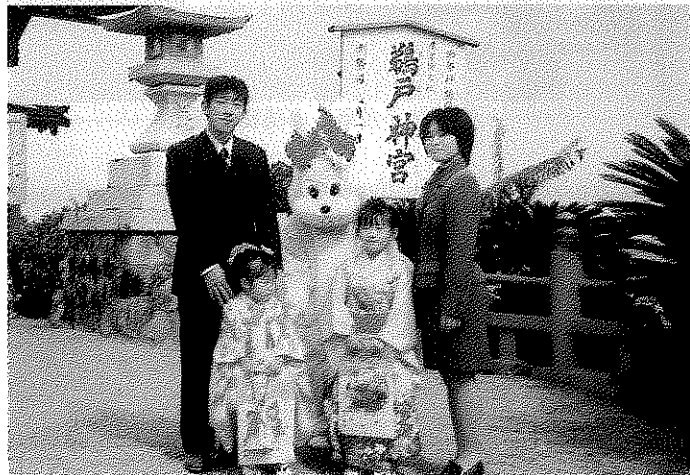




鶺戸さん獅子舞



蘭陵王



豊栄の舞

# 明治祭 秋の縁日大祭斎行

十一月三日午前十時三十分より、明治祭並びに秋の縁日大祭が、責任役員をはじめ多数の参列を賜り厳粛に斎行された。

明治祭は、近代日本の礎をお築きになられた明治天

皇をたたえ、誕生の日をお祝いする祭典である。

縁日大祭は、古来旧暦三月の祭礼日に農業、漁業、商工業に従事する人々で賑わったと伝えられている。この事を奉祝し往年の賑いを

呼び戻す為、年二回春と秋に斎行されている。

奉祝行事として「豊栄の舞」、「鶺戸さん獅子舞」、舞楽「蘭陵王」が演舞された。

# 七五三詣

古くより伝わってきた七五三は、子供の成長を祝う大切な人生儀礼である。

一般的に三歳の男女は「髪置」、五歳の男子は「袴着」、七歳の女子は「帯解」の祝いとされている。

髪置とは、生後髪を剃っていた男女が髪を伸ばし始

める儀式。袴着とは、男子が初めて袴を付ける儀式。帯解とは、女子が着物に付いている紐をとり、大人と同じように帯を締める儀式の事であり、それぞれに意味がある。

現在のように十一月十五日が七五三祝いの日になっ

たのは、徳川五代将軍綱吉の子徳松の髪置祝いを、この日に行なったからとも伝えられている。

当神宮でも、十一月に入ると晴着姿の子供たちの元気な声が岩窟に響き渡った。参道には、当神宮ゆかりの「うさぎ」のぬいぐるみを準備し、お祝いの子供たちと記念撮影をした。

平成16年厄祓一覧表(但し、数え年)

Table with columns for gender (女性, 男性) and age groups (昭和49年, 昭和40年, etc.) listing厄入, 前厄, 本厄, 後厄, 厄明.

厄入・厄祓・厄明のご案内

厄年は人生の転機にあたり、心身共に苦勞の多い年令と... 無病息災にてお過ごし下さいますよう御案内申し上げます。

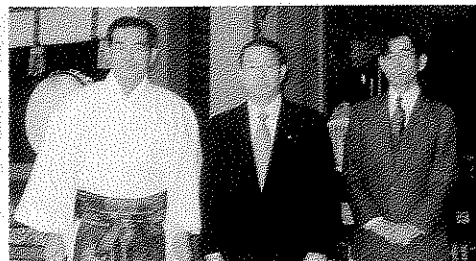
Calendar table for平成十六甲申年鵜戸神宮御神事一覽表(二月〜六月) with columns for date, time, and festival name.

平成十六甲申年鵜戸神宮御神事一覽表(二月〜六月)

Table listing names of shrine staff members (宮務員, 宮務員, etc.) and their names (杉田秀二, 藤友謙, etc.).

賀正

社務日誌抄



霧島神宮宮司 高橋弘平氏他

2月1日 例祭
2月2日 第50回剣法発祥
2月4日 第31回鵜戸神宮
奉納四半の弓道
大会

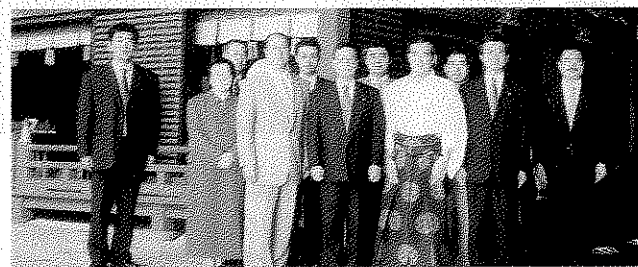
1月1日 歳旦祭
1月2日 初日供祭
1月3日 元始祭
1月7日 昭和天皇御陵遷
拜式
1月31日 霧島神宮宮司
高橋弘平氏他
1名参拝



鹿兒島神宮 大西敬神婦人会

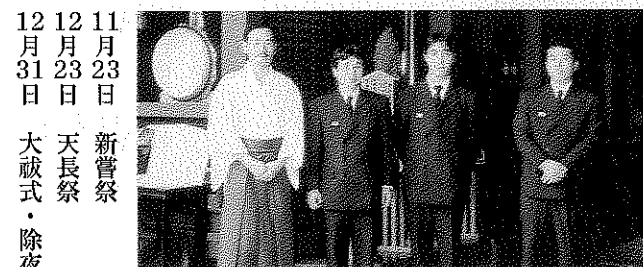
2月10日 播種祭
2月11日 紀元祭
2月14日 鵜戸稲荷神社例祭
2月17日 祈年祭
3月9日 御神田清祓祭
3月16日 御田植祭
3月19日 責任役員会
3月22日〜23日 春の緑日大祭
3月23日 第17回シヤンシ
ヤン馬道中唄全
国大会決勝
第17回シヤンシ
ヤン馬道中新婚
3組参拝
4月16日 鹿兒島神宮大西
敬神婦人会参拝

4月22日 大分県 雲八幡
宮宮司 秋永勝
彦氏参拝
4月24日 責任役員会
4月30日 氏子・崇敬者総
代会
5月5日 節句祭奉祝行事
いさみ太鼓奉納
5月9日 王楽寺住職 甲
斐裕隆氏参拝
5月13日 宮司浄階並びに
神職身分一級昇
進祝賀会
5月16日 別当宮司先賢慰
霊祭
5月29日 在福岡米田領事
館首席領事ウー
C J I 氏他参拝
6月22日 東郷神社権宮司
嶋田耕一氏他参拝
6月30日 大祓式
7月2日 日南地区産業安
全祈願祭
7月7日 県神道青年会副
会長 黒木將浩
氏他参拝
7月8日 南那珂支部実務
研修会 県神社
庁参事 本部雅
裕氏他参拝
7月12日 十根川神社宮司

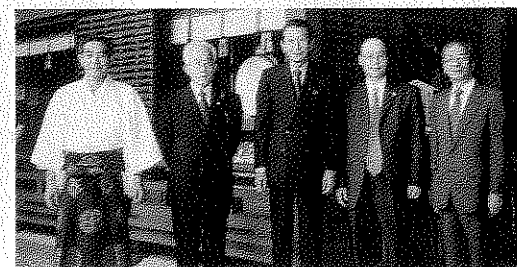


県神社庁参事 本部雅裕氏他

7月20日 那須氏他来宮
8月20日 湯泉神社宮司
別所敬介氏参拝
10月18日 犬山市助役 渡
邊昭美氏他三名
参拝
10月22日 責任役員会
11月3日 明治祭
11月3日〜4日 秋の緑日大祭
11月5日 宮内庁桃山監区
事務所 上村雅
洋氏他三名参拝



宮内庁桃山監区事務所 上村雅洋氏他



犬山市助役 渡邊昭美氏他

11月23日 新嘗祭
12月23日 天長祭
12月31日 大祓式・除夜祭



油 絵 奉 納

十月十六日、フランス在住の画家マークエステル氏より油絵の奉納があり、午前十時より奉告祭が斎行された。

油絵は具象画二点。鶺戸の風景の中に神話の世界が、テンペラ画の持つ透明性と流動性を持たせた独自の手法(水彩画的なじみ)で描かれている。

氏は一九七〇年に初来日。以後、日本の神話に興味を持たれ、多数の神話の世界を描かれている。又、絵画の他に陶磁器、漆器、織物等の工芸にも秀でておられ、世界中で活躍されている。



マークエステル氏左から2番目

境 内 の 植 物

トペラ

暖地の海岸に見られる常緑低木で、高さ二〜三mになる。雄雌異株で根に臭気があり、葉は枝先に

集まっている。四〜六月に芳香のある白花をつける。果実は径一〜二五cmの球形で三つに裂け、赤い粘った種を出す。



辞 令

鶺戸神宮禰宜 永友 謙二  
神職身分二級とする  
神社本庁(九月十日)

巫 女 濱 田 人 美  
願によりその職を解く  
(八月三十一日)

編集後記

社報第五十七号をお届け致します。

夜、月を見ながら、波の音風の音を聞きながら龍笛の練習をしている時、ふと思うことがあります。

それは、タイムスリップできるものなら、平安時代の管絃の達人、源博雅の龍笛を聞いてみたい、と。

(中 武)